

電話の使い方

☐電話交換業務取扱い時間

平日 8時30分～17時15分
上記時間以外の交換業務はできません。D I 回線またはD I D回線を利用してください。

☐ダイヤルイン（D I）回線による内線着信

ダイヤルイン（D I）回線は、交換手を通さずに直接内線電話に着信させる回線です。（発信側の回線種別（PB、DP）を問わず着信可能）
内線9000番台の電話がD I 回線です。局番47を前に付けることで、直接内線電話に着信します。

☐ダイレクトインダイヤル（D I D）回線による内線着信

ダイレクト イン ダイヤル（D I D）回線も、交換手を通さずに直接内線電話に着信させる回線です。（発信側がプッシュ信号を送出できる場合のみ着信可能）
電話番号 0258-47-1611 をダイヤルした後、D I D信号音を確認し、内線電話番号をダイヤルすることにより、直接内線電話に着信します。

☐学内と匠陵クラブ宿泊室との通話

学内から匠陵クラブ宿泊室へ電話する場合は、**特番“42”+宿泊室番号**をダイヤルしてください。
また、匠陵クラブ宿泊室から学内内線電話へ電話する場合は、**特番“4”+内線電話番号**をダイヤルしてください。
なお、匠陵クラブからの外線発信はできませんので、最寄りの公衆電話（国際交流会館又は福利棟）を利用してください。

☐市内、市外および外国への通話

内線電話からの発信・・・受話器をあげ「0」をダイヤルまたは、外線発信ボタンを押し、発信音（「ツー」音）を確かめ、使用例の要領でダイヤルしてください。
【使用例】
市内通話（超特甲・特甲・準特甲・甲のみ発信可）
O もしくは外線発信ボタン+（相手電話番号） 12-3456
市外通話（超特甲・特甲・準特甲のみ発信可）
O もしくは外線発信ボタン+（市外局番） 1234+（相手電話番号） 45-6789
国際通話（超特甲のみ発信可）
O もしくは外線発信ボタン
+（国際通話識別番号）010+（国番号） 1+（相手国市外局番） 234
+（相手電話番号） 567-8900
※104（NTT電話番号案内）、あんないジョーズ（NTT音声ガイド電話番号案内）、ダイヤルQ2、0051（KDDオペレータ申込通話）は接続できません。
電話番号検索は、NTTタウンページを御利用ください。

☐発信電話番号表示サービス

（イ）ダイヤルイン（9000）回線、直通電話
「0」+相手番号をダイヤルすると、相手方（携帯電話等）に電話番号を通知します。
（ロ）（イ）を除く内線電話
今までどおりのかけ方で、相手方に電話番号を通知します。
相手方に電話番号を通知したくない場合は、**特番“184”+相手電話番号**をダイヤルしてください。
通知される電話番号は、下記のいずれかの電話交換機の局線番号となりますので、学外からこの番号をダイヤルしても着信しません。

46-6001	46-6514	46-5477	46-6515	46-6520
46-2480	46-6718	46-6719	46-6720	47-9121
47-9122	47-9123	47-9120	47-9124	47-9125
47-9126	47-9127	47-9128	47-9129	47-9130
47-9131				

【使用例】
O もしくは外線発信ボタン+“184”（着信音確認 約4秒）+（相手電話番号） 12-3456
（ハ）番号通知お願い機能（ナンバーリクエスト）
相手方に電話番号を“通知しない”でかけた時に、相手方から「こちらは、〇〇〇△△△の□□□です
恐れ入りますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」と音声がかえたら、（ロ）
今までどおりのかけ方でかけ直してください。

□電話番号の見方

(市内局番) (加入者番号)

△△-XXXX・……単独電話番号

XXXX・……内線電話番号

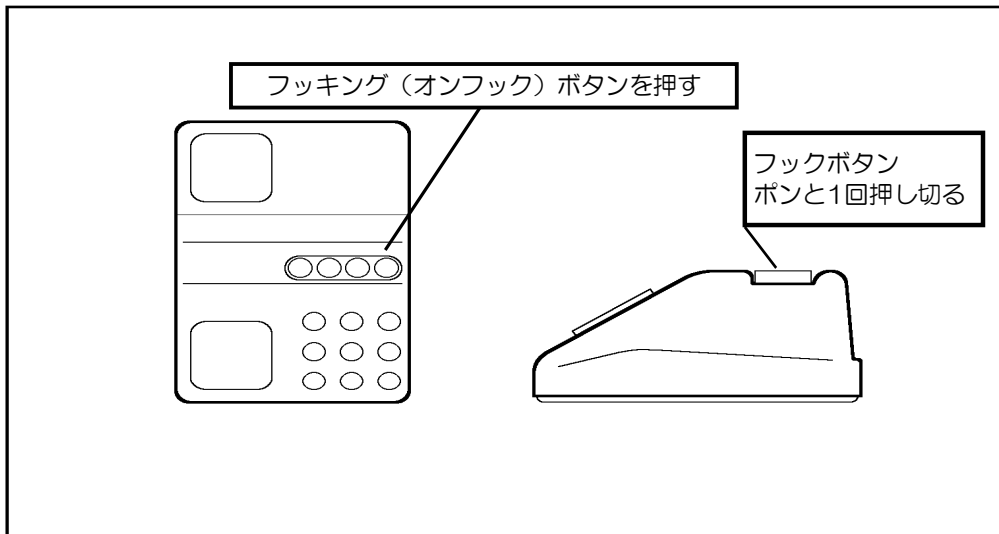
同番号で設置場所の異なるものはランチ式の電話です。

□電報

電報は総務課で発信しますので、所定の依頼紙に必要事項を記入し、総務課へ提出してください。

□フッキングのしかた

電話機のフックボタンを一度下まで充分押し切るようにします。(0.2～0.8秒) 正常なフッキングが出来た時は、フッキングダイヤルトーン” ツツー・ツツー” が聞こえ、次の操作に移れます。



□可変短縮ダイヤル

電話機ごとに独自の短縮番号を登録して使えます。(5回線)

(イ) 登録方法 登録特番 “12+コード+0+相手番号” コードは 11, 12, 13, 14, 15 の5個です。登録完了時には、登録完了音”ツ・ツ・ツ”が聞こえます。

(ロ) 発信方法 発信特番 “13+コード”

【使用例】コード”11”に0258-46-6000を登録します。

ダイヤル”12-11-0-0258-46-6000” 発信はダイヤル”1311”で0258-46-6000が呼び出せます。

□固定短縮ダイヤル (システム短縮ダイヤル)

発信方法 “発信特番10+コード00～99”

固定短縮ダイヤル番号簿 21頁以降を参照してください。

【使用例】ダイヤル “1000” で03-3581-4111 (文部科学省) が呼び出せます。

□内線相互キャンブオン

内線相互通話で相手内線が話中時、相手内線の通話が終わりしだい、発呼者を呼び出し通話ができます。

(イ) 登録方法 “フッキング+17”

登録完了後 (完了音 ツツー・ツツー音が聞こえます。)

受話器を下ろして待ってください。

相手内線が空きしだい交換機から自動的に呼び返されます。

(ロ) 解除方法 (途中取消) 解除特番 “18”

□ラストナンバーリダイヤル (呼出し番号自動再送)

相手話中の場合、次の発信時特番 “16” をダイヤル することにより、自動的に先の呼出番号を再ダイヤルできます。(内・外線とも)

□可変不在転送

離席する場合、転送先の内線番号を登録しておく、自分の席にかかってきた電話が自動的に転送先の電話機につながります。

(イ) 登録方法 登録特番 “1 4 + 転送先電話番号”

登録完了時には、登録完了音 “ツ・ツ・ツ” が流れます。

(ロ) 解除方法 解除特番 “1 5”

解除完了時には、登録解除音 “ツ・ツ・ツ” が流れます。

□代理応答（コールピックアップ）

自グループ内の電話機に着信があった場合、別の電話機から応答特番 “1 1”をダイヤルすることにより受けることができます。

ただし、現在登録されているグループは、各課、各系事務室、体育保健センター、エネルギーセンターの12グループです。

□保留（コールホールド）

通話中に、調べ物などをする場合、通話を一時保留することができます。

(イ) 保留方法 “フッキング”・・・保留音が流れます。

(ロ) 解除方法 “フッキング”・・・元の状態に戻ります。

□コールウェイティング

かけた相手が内線相互で話中のとき、通話中の被呼者にコールウェイティングトーンを聞かせその被呼者がフッキングすることにより、その着信に応答出来ます。

(イ) 発呼者 “フッキング+1 9” 被呼者に、コールウェイティングトーン “ツー” が流れます。

(ロ) 被呼者 他の内線と話中時、コールウェイティングトーン “ツー” が聞こえたら “フッキング” をして応えてください。

割込通話者が受話器を下ろすと、最初の状態に戻ります。また、被呼者がフッキングを繰り返すことにより、交互に切り替えることができます。

□フルコールバックトランスファ（内線自動転送）

局線あるいは、内線通話中、別の内線へ転送することができます。” フッキング+転送先電話番号”

ただし、相手が話中の時は、再びフッキングをすることにより、元に戻ります。また、転送したとき、相手内線が（１）一定時間内に応答しない場合（２）接続がうまくいかなかった場合は、元の内線に戻ります。

□アドオン

通話中にもう一人の内線を呼び出し、三人で打ち合わせ通話ができます。

通話中に “フッキング+内線電話番号” その後、再びフッキングをすることにより、三者通話ができます。

□ページング

予め設定された内線電話機(総務課長)より大学構内の放送設備を利用して放送することができます。

(ただし、一斉放送のみ) ダイヤル “4 9 0 0”

□携帯電話への発信方法について

携帯電話への発信の場合も、市内外への通話同様に「0」発信でダイヤルしてください。

割引料金の適用を受けるため、自動でNTTコミュニケーションズ「0033」を付加しています。

□内線電話の故障

他の内線番号よりダイヤル “9 2 3 3”（施設管理課施設企画係）をダイヤルして「故障内容」を告げてください。